



吉田

よしだ ゆみこ

品川・生活者ネットワーク 品川区議会議員

「市民自治」のまちづくりを前へ！

●品川・生活者ネットワーク
吉田ゆみこの活動を紹介します。

人口減少社会が目前に迫っています。品川区でも、少子高齢化に伴う公共施設の再編整備や減災の都市整備などが直面する課題となっています。これからは、行政だけが担うのではない市民が協働するまちづくりへの転換が急務です。でも、「こんな品川に暮らしたい」思いは一緒でも、その描き方は人それぞれ。

だからこそ多くの市民が参加し、意見や利害が対立する人と「合意する力」を発揮しながら、理念や方向性を市民自らが決め、まちづくりを行なっていく「市民自治」が必要となるのです。行政は、区の執行機関として計画的で効果的な行財政運営を推進していかねばなりませんし、議会は、意思決定機関として広く市民の声を聴きながら行政監視、政策形成、立法機能を果たし、まちづくりの一翼を担っていくのです。

生活者ネットワークは、市民自治のまちづくりを進めるために、自治基本条例や市民参加条例を整えるとともに、無作為抽出・ワールドカフェ形式による「住民討論会」の設置を提案します。

吉田ゆみこプロフィール

■1954 品川区生まれ ■77 学習院大学法学部卒業 ■92 食の安全を求めて生協に加入 ■97～2006 生活クラブ生協理事、23区南生活クラブ理事長 ■07～ 生活クラブ東京理事長、市民風車「夢風」建設プロジェクトメンバー、生協や漁協が全国規模で活動する協同組合せっけん運動連絡会代表幹事 ■11～ 原発部民投票条例直接請求の請求代表者として都議会総務委員会で意見陳述に立つ。親の介護を経験し制度の不備を実感、医療・介護制度調査、空き家・空き店舗調査などに取り組み ■15 品川区議会議員初当選 ■18 会派政調会長。総務委員会、廃棄物減量等推進審議会、議会改革推進会議、広報会議に所属、土地開発公社評議員。東京コミュニティパワーバンク理事
 ●趣味：読書、ウォーキング、植物を育てること ●家族：子ども2人は独立、北品川在住

<http://yoshidayumiko.seikatsusha.me/>



●共に活動しています / 左から、品川・生活者ネットワーク前区議の井上八重子、区議の吉田ゆみこと田中さやか

吉田ゆみこさんを応援します

三浦まり

上智大学教授



生活者ネットワークは長年にわたって地域に根ざした市民参加を実践してきました。私たちの社会の多様な声を議会に届けるには、地域に基盤のある信頼のおける人を送り出すことが必要です。品川区がすべての人の人権を尊重し、一人ひとりに寄り添うようになるために、生活者ネットワークの吉田ゆみこさんを応援します。

山口二郎

法政大学教授

森田明美

東洋大学教授 / 子どもの権利条例東京市民フォーラム事務局長

中川李枝子

児童文学作家

堀 利和

視覚障害者元参議院議員

福嶋浩彦

元我孫子市長

鎌仲ひとみ

映像作家

内山 節

哲学者 / 立教大学教授

土谷雅美

生活クラブ生協東京理事長

山内れい子

東京・生活者ネットワーク都議会議員

北野富江

元区議会議員

三村りつ子

元区議会議員

市川和子

元区議会議員

井上八重子

品川・生活者ネットワーク代表 / 前区議会議員

生活者ネットワーク3つのルール

議員報酬は市民の政治活動資金に

議員は交代制
(最長3期ローテーション)

選挙はカンパとボランティアで

「羽田低空飛行」は白紙撤回！
 ●STOP！騒音・落下物・大気汚染・重大事故／品川の空と暮らしを守る

●学校の給食と学校農園の活用で食農教育を進める
 ●農薬・添加物・遺伝子組み換えの全食品表示を徹底する

●子どもの育ちを応援する
 ●子どもの権利条例をつくる

●虐待をなくす
 ●保育の質の向上をはかる
 ●障がいがあってもなくても共に学びあう学校をつくる
 ●多様な学びを保障する／学び直せるリカレント教育を進める

●生命尊重の視点からの性教育を進める
 ●教育と福祉の連携で子どもと子ども家庭を応援する

●介護・医療・福祉の連携で安心の地域をつくる

●高齢者や障がい者の在宅生活を支える相談機能をつくる
 ●緩和ケアや看取りも含む在宅医療を推進する
 ●空き家を転用したグループホームやみんなが集う居場所を増やす
 ●安心の住まいを確保する
 ●家族介護者を支える「ケアラー支援条例」をつくる

●障がいの有無にかかわらず共に暮らすまちへ

●「障がい者差別解消条例」を制定する
 ●移動の確保、居場所の創出で高齢者・障がい者の社会参加を保障する



2019年／品川・生活者ネットワーク 吉田ゆみこの提案

みんなが幸せになる
 ジェンダー平等社会へ

●女性の人権を守る！被害の救済・支援のしくみを整える
 ●性的指向・性自認を尊重し多様性を認めあう
 ●男女平等参画を進める

防災・減災のまちづくりは
 福祉と環境優先で！

●地域防災は、福祉の視点と女性の参画で！
 ●液体ミルクやアレルギー対応食を備蓄する

原発ゼロ！持続可能な
 環境を次世代にわたす

●給食の放射能を測定・公開し放射能から子どもを守る
 ●雨水の地下浸透・循環利用を進める
 ●省エネ・創エネ！「地域エネルギー計画」をつくる

大事なことは市民が決める

●公共施設の再編整備は市民参加で
 ●「公文書管理条例」を整備し情報公開を徹底！
 ●自治の力を活かす「自治基本条例」をつくる／議会への市民参加を広げる

憲法をまもり活かす

●平和への思い・戦争体験を継承する
 ●オスプレイ配備NO！
 ●基地問題に取り組み
 ●人権を価値基盤に
 ●多文化共生社会を築く



4年間、福祉のまちづくりを中心に活動を重ねてきました。高齢者介護を取り巻く状況は一層厳しくなっており、介護保険は、高齢者人口の増加と財源不足を理由にどんどん使いにくくなっています。それをカバーするはずの品川区の制度は不十分です。障がい者の自立支援制度はといえば、相談支援事業所や施設などの社会的資源が他区に比べて圧倒的に少なく、23区最低である事実が露呈しています。

介護する側への支援も大きな課題です。本来は高齢者や障がい者自身の権利であるはずの介護や自立支援は、現状では家族が担うことが前提となっけてしまっています。結果、子育てと介護を同時に担うダブルケアや、学齢期の子ども・若者が、親の介護や障がいのある家族の世話をしているヤングケアラーの問題が深刻になっています。品川区はこの問題についての認識が薄く、実態もつかめていないのが現状です。介護者自身の人生も大切にできる支援が急務です。現場の声をしっかり聞きながら、施策への反映を果たさねばなりません。

私・吉田ゆみこは、みんながつながり共に生きるまち、誰もが暮らしやすい福祉優先のまち・品川をめざして前へ進みます。

品川・生活者ネットワーク 区議会議員
 吉田ゆみこ

福祉優先のまちへ つくろう！ 地域共生社会のしくみ



有明防災公園で開催された憲法集会で。2016年5月3日

南相馬錦町の放射能測定センターを視察。品川での測定室設立につなげた。2016年11月5日

実現しました！

- 保育園・学校給食食材の放射能測定
- 地域振興基金の創設～基金活用で区民活動助成制度を創設
- 避難所運営会議への女性登用を防災計画に掲載
- 本会議場に車椅子利用の傍聴者に対応する昇降機を設置／乳幼児同伴傍聴者の託児施設
- 税金負担の議員永年表彰記念品を廃止
- 条例・品川区要綱全項を区公式HPに公開
- 「議員の議案賛否」を区議会HP上に公開

Information

吉田ゆみこ街かど集会

■4月6日(土)16時～ 大井町イトーヨーカドー前